

いわみざわ男女共同参画マガジン

ア・ライク

ア・ライク (A'like) ~共に生きる~
〈同様の・等しく〉という意味を持ちます。

2021年 VOL. 19



〈岩見沢名所探訪シリーズ⑥〉

天 秘 (てんぴ)

陸上競技場などがある東山公園に設置されている彫刻家安田侃さんの作品です。美唄市出身の安田さんは北海道教育大学岩見沢分校を卒業され、現在はイタリアを主な拠点として活動されています。広い芝生の上に緩やかな丸みを帯びた白い大理石がたたずむ姿は、市民の憩いの場となっています。

コンテンツ

- 特集 性の多様性について知ろう
- あ・らいくな人 (水島久美さん)
- オンライン会議に参加して
- 北海道教育大学岩見沢校との連携
- 市民会議の活動報告

特集 性の多様性について知ろう

最近、テレビや新聞、雑誌などでLGBTという言葉を見聞きする場面が多くなってきましたが、皆さんはLGBT、性的マイノリティ（性的少数者）という言葉を知っていますか？一人ひとりに個性があるように性のあり方も様々です。誰もが自分らしく生きられる社会にするために性の多様性について正しく知ることからはじめてみませんか。

■セクシュアリティ（性）のあり方には次の4つの要素があります

からだの性

身体的な男女の性別、生まれながらのからだの性

こころの性（性自認）

自分が自分の性をどのように認識しているか

好きになる性（性的指向）

こころ、からだの性に関わらずどの性を恋愛の対象とするか

表現する性

言葉づかい、しぐさ、服装など

性のあり方は、一人ひとりに個性があるように、その表れ方や組み合わせも人によって様々です。例えば、からだの性は男性で、こころの性は女性ということもあり、その逆もあります。好きになる性も必ずしも異性ではありません。また、それぞれは、「男性」か「女性」かに明確に分けられるものではありません。それぞれの人にとっての「当たり前」をお互いに受容し尊重し合うことが大切です。

■LGBTとは

LGBTとは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を取って組み合わせた言葉で性的マイノリティを表す総称の一つです。

L

Lesbian
レズビアン

女性として
女性が好きな人

G

Gay
ゲイ

男性として
男性が好きな人

B

Bisexual
バイセクシュアル

好きになる対象が
男性・女性両方の人

T

Transgender
トランスジェンダー

からだの性とこころの性に不一致を感じる人

性的指向（好きになる性）

性自認（こころの性）

性的マイノリティにはLGBT以外もあります。

Questioning（クエスチョニング）・・・自分の性別や性的指向に確信が持てない人

Xgender（エックスジェンダー）・・・性自認が男性にも女性にもあてはまらない人

Asexual（アセクシュアル）・・・同性も異性も好きにならない人

このほかにも性のあり方がたくさんあることから、LGBTQ、LGBTs と表すこともあります。

■SOGIとは

SOGIとは、性的指向（**S**exual **O**rientation）と性自認（**G**ender **I**dentity）の頭文字をとった言葉です。読み方は「ソジ」が一般的ですが、ソギとも呼ばれます。

LGBTがレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーという「誰」を指すのに対して、SOGIは「どんな性別を好きになるのか」、「自分自身をどういう性だと認識しているのか」という「状態」を指すので、私たち全員が含まれます。

LGBTの割合

2018年の電通ダイバーシティ・ラボの調査によると、LGBT層に該当する人は全体の**8.9%**という結果になりました。これは11人に1人となり、左利きの人の割合とほぼ同じです。

■性的マイノリティの方はこんなことで傷ついています



誰にも自分の悩みを相談できない

周りから偏見の目で見られる

性的マイノリティであることを知られるのが怖い

信頼してカミングアウトしたのに言いふらされた



性的マイノリティの方は、幼少期から自身の性のあり方や他人との違いに違和感を感じ始めると言われています。成長とともに常に違和感にさいなまれ、将来にも希望が持てない不安な状態になってしまう場合があります。また、周囲の理解不足のため何気ない言葉や態度から困難な状況を抱え、生きづらさを感じている方も少なくありません。

■カミングアウトとは？

カミングアウトとは、これまで、誰にも言ってこなかった自分の秘密を話すことです。LGBT に関する話題では、自分の意志で性的指向や性自認について打ち明けることを指します。

もしあなたが、家族、友人、同僚など身近にいる人からカミングアウトされたら、どう接すればよいでしょう。大きな不安を抱えながら、あなたを信頼して話してくれたのです。まずは相手を受け入れ、一緒に考える意思を伝え、「勝手に他の人に話さない」というところが大事になります。

■アウティングとは？

アウティングとは、本人の了解を得ずに、公にしている性的指向や性自認などの秘密を暴露することです。これは本人を極めて深刻な状態に追い詰めることとなります。周囲の偏見にさらされ、自殺してしまった例もあります。命にも関わる大事なことです。アウティングは絶対にしてはいけません。

事例 1

一橋大学の学生がゲイであることを同級生の友人にカミングアウト。友人は同級生グループ内の SNS でアウティングをしてしまい、本人は自殺をした。

事例 2

東京都豊島区の保険代理店で働く 20 代男性が、上司にカミングアウト。上司から同性愛者だとアウティングされて男性は精神疾患となり休職した。

SOGIハラとは？

性的指向・性自認に関して、嫌がらせやいじめなどのハラスメントをすることです。

「ホモ」や「レズ」などの差別的な言葉を使ったり、誰かのセクシュアリティを勝手に人にばらす「アウティング」をしたり、その人の性自認を無視して「女性（男性）なんだから服装も女性（男性）らしくしろ」と強要したりすることも SOGIハラに当たります。

■アライになろう

All y（アライ）とは、性的少数者を理解し、支援する人のこと。英語で、「支援者」「同盟」「味方」を意味する言葉です。LGBT の正しい知識を持ち、応援する気持ちを明確に持っている人々を指して使われることがあります。アライが増えると、性的少数者の生きやすさに繋がります。

誰でもアライになることができます。性の多様性を理解することからはじめてみませんか？

2021 男女共同参画市民フォーラム開催予定

テーマ：多様性を認め合える社会をめざして

日時：令和 3 年 6 月 27 日（日）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

会場：北海道グリーンランドホテルサンプラザ（岩見沢市 4 条東 1 丁目）

講演：性的マイノリティってなに？

～楽しく学ぶ、ジェンダー、セクシュアリティ～

講師：仲岡 しゅん さん（弁護士）

※新型コロナウイルスの影響により日程等が変更になる場合があります。なお、詳細については広報いわみざわ、市ホームページ、ポスター等でお知らせします。





女性初の会長として
パワフルに活躍中！

一般社団法人
北海道薬剤師会 南空知支部

みずしま くみ
会長 **水島 久美さん**

【プロフィール】

年齢：64歳（1956年11月生まれ）

出身：鹿児島県肝属郡肝付町

職業：薬剤師

家族構成：夫、犬

趣味：テニス（中学校時代から継続中）

特技：…仕事一筋

仲間と集いワイワイするのが好き

■薬剤師を目指したきっかけは？

物理が好きで、大学は親から「知っている人が誰もいないところに行ったほうが自分のためになる」と言われたので、誰も知り合いがいなく、学費が公立大学の中で一番安かった静岡薬科大学に進学しました。大学時代に知り合った夫が、家業の薬局を継ぐことになっていたため、自分も薬剤師の資格を取ることにしました。

■薬剤師をしていて、やりがいを感じたことや苦労したことは

苦労したことはないです。毎日、薬を一人で飲めない方などに薬を届けて、人と人の繋がりを大事にしています。認知症で孤独になっている方から慕っていただくと嬉しいなと思います。

日本薬剤師会の2つの大きな仕事に携わりました。1つは、「JPALS（ジェイパルス）」という薬剤師の生涯学習支援システムを作成する事業に最初から関わっています。薬剤師が研修会等に参加したレポートを日本薬剤師会に提出し、審査を受け、レベルが上がっていくシステムを作りました。

もう1つは、マイナンバーカードに紐づけた薬剤師認証システムです。偽の薬剤師を防ぐために、将来的に紙の免許証をなくし認証カードを作ろうということで、その基盤を作っています。この2つの仕事に関われたことにすごくやりがいを感じています。

■女性の薬剤師は多いように感じますが…

岩見沢市のデータはありませんが、全国では6：4の割合で女性のほうが多いです。昭和時代に医薬分業が始まり、薬剤師がたくさん必要になった時に女性が増えました。過去に女性が8割という時代もありました。

薬剤師は対人業務が重要です。調剤は機械でほとんどができますが、薬をお渡しする際には、データベースを見ながら、一人ずつにあわせて薬の説明や正しい飲み方を伝えなければなりません。患者との対話の中で薬や健康の相談を受けた場合は、医療機関への受診を勧める場合もあります。

女性は対人業務が適していますし、育児休暇、子育て支援も整備されてきているので、女性にとって働きやすい職場だと思います。

ただ、子育て等で一度現場を離れると、復職することがなかなか難しい。医薬の分野は日進月歩です。離職期間が長いほど復職へのハードルが非常に高くなります。

■仕事と家事の両立について

毎日、朝7時半から夜8時くらいまで仕事をしています。朝方、高齢者宅を訪問してから、その後は職場にいます。

私の家では、家事はできる人がやっています。お互いに仕事の内容がわかっていますので、私が忙しい日は夫が「今日は僕がやるよ」とやってくれます。

数年前、鹿児島の両親を介護するために、自宅に連れてきました。要介護5の両親の介護は大変でしたが、母、父を看取ることもでき、最期に過ごした時間は宝物です。

両立はできていないと思いますが、大変なことがあればあるほど、自分の糧になると思っています。

■男女共同参画の取り組みについて

薬剤師会の役員は女性が多いし、男性に負けたくない感じもあり、リーダーシップもどちらかというとなりがとっているような感じです。

市の健康まつりへの参加も、以前はほとんどが男性役員でした。今は男女を問わず役員でない人も集まるようになり、薬剤師会の男女共同参画も進んだのではないかと思います。

■コロナ禍で市民に伝えたいこと

私たち薬剤師会も一丸となり、衛生用品などの供給体制について情報を取り合いながら頑張っています。

市民の方には、情報に踊らされないように気を付けていただきたいです。まだまだ偏見や風評被害に困っていらっしゃる方がいると聞きます。正しい情報を得て生活して欲しいと思います。

一人ひとりが気をつけるしかないですが、私たちと行政が、一緒になって、市民を啓蒙していくのが良いかと思います。



オンライン会議に参加して

国立女性教育会館主催の「男女共同参画推進フォーラム」と男女共同参画に関する国内最大級の会議「日本女性会議」が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりオンラインで開催されました。いつもは会場に足を運べない市民会議実行委員も参加することができました。

男女共同参画推進フォーラム（令和2年8月27日～9月26日）

■ 基調講演「私たちはジェンダー平等をどこまで達成できたのか？～世界から見たニッポン～」 講師：林 陽子さん（弁護士、前国連女性差別撤廃委員会委員長）

林さんは、国際的潮流とSDGs※の目標であるジェンダー平等の実現に向けて日本が取り組むべき課題を力強く解説されました。「10年後に向けて日本社会がどうあってほしいのか、知恵を出し合いグランドデザインを描いて、行動を起こしていこうではありませんか」と締めくくりました。

※SDGsとは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2015年9月に国連総会で採択され、2030年達成に向けて、世界を変えるために構成された17の目標です。「目標5 ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」



■ シンポジウム「傷ついている誰かを取り残さない

～ジェンダーに基づく暴力（GBV）とたたかう現場からの提言～

コーディネーター：小島 慶子さん（エッセイスト、タレント）

シンポジスト：北仲千里さん（NPO 法人全国女性シェルターネット共同代表）

多賀 太さん（一般社団法人ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン共同代表）

山本 潤さん（一般社団法人 Spring 代表理事）



小島さんのテンポの良い進行のもと、ジェンダーに基づく暴力撲滅に取り組む3名の方々と、暴力を引き起こす社会構造とその変革へのアクションについて考えました。

性差別とそれに基づく暴力の実態と対応に、現場に根ざした提言がなされ、男性を含む社会的な取り組みが必要であると。性暴力被害に「言うてはならないこと」から「あつてはならないこと」に、それぞれの持ち場で粘り強く発信していこうと。改めて性教育の必要性・メディアでの女性の立ち位置等を考えさせられました。

日本女性会議2020あいち刈谷（令和2年11月13日～15日）

■ 基調講演「コロナ禍とジェンダー」

講師：上野千鶴子さん（社会学者・東京大学名誉教授）

基調講演は、日本のジェンダーに関わる思想と運動をリードし続けてこられた社会学者上野千鶴子さんがコロナ禍の中の社会をジェンダー視点で読み解き、コロナ後の社会におけるジェンダー平等の課題について話されました。

コロナウイルスをめぐる状況は、貧しさや格差社会を顕在化しました。また政府が掲げた「202030目標※」は達成の見込みもなく、「女性活躍推進法」「政治分野における男女共同参画推進法」が施行されましたが、法整備にとどまり、政治経済分野での改善が進んでないことが浮き彫りになりました。

指導的地位に占める女性の割合を増やして社会を変えたい。そうすればこれからの超高齢社会も、国民がこぞ安心して暮らせる社会となり、介護保険が安心して受けられる、安心して認知症になれる等々、当たり前の話に改めて共感させられ、淀みのない話に1時間があっという間に経過しました。



※202030目標とは、2003年に内閣府が掲げた「社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度になるよう期待する」という目標です。

北海道教育大学岩見沢校との連携

北海道教育大学岩見沢校の学生さんにご協力いただき、男女共同参画啓発冊子とDV防止啓発かるたを作成しました。これからの啓発活動で活用していきます。

■男女共同参画啓発冊子『男女共同参画社会の実現 わたしたちの「これから」をよりよくするために』

「性別にかかわらず自分らしく」という男女共同参画の基本を、わかりやすくマンガで表現しています。子どもたちから男女共同参画について理解を深められるように小学生に配布します。



■DV 防止啓発かるた

恋人やパートナーの間でおこる暴力などの事例を、わかりやすく読み札と絵札のイラストで紹介しています。このかるたを通して、DVの仕組みについて学ぶことができます。



男女共同参画に関する出前講座

岩見沢市では、まちづくり出前講座の一環として、町内会やサークルなどの各種団体を対象に、男女共同参画についての講座を開催しています。DVやLGBTについても行います。ご希望の方は、市民連携室男女共同参画担当までご連絡ください。

男女共同参画川柳コンテスト

第五回となる「男女共同参画川柳コンテスト」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、表彰式を行うことができませんでしたが、今回も素晴らしい作品の応募がありました。

(応募期間：令和2年4月1日から5月8日 応募総数：17名 49作品)

■第五回入賞作品

<大賞>

「ありがとう」なんもなんもと支え合い 金子 幸 男 さん

<入選>

コロナ危機男女関係知恵を出す	新 谷 和 恵 さん
性差別なくすバトンを次世代へ	田 中 華 子 さん
共働は男女互いのリスペクト	原 恭 子 さん
性別を超えて生まれる君らしさ	平 山 紗 也 華 さん
お互いに時にはサポートそっと出し	藤 森 倭 文 子 さん

(※入選は順不同)



大賞の金子さん



入賞作品は市役所やイオン岩見沢店などに展示しました。

コンテストは令和3年度も開催しますので、どしどしご応募ください。

なお、詳細については、広報いわみざわ、市ホームページ、ポスター等でお知らせします。

編集会議余話

新型コロナウイルスの中で

令和2年は新型コロナウイルスの中で、何とも気持ちの落ち着かない一年となった。

最初に目にしたのは、横浜港に停泊する豪華客船ダイヤモンド・プリンセス号のニュースである。当初は船旅を楽しんでいる人たちの話で、岩見沢に住む私には関係のない話だと思っていた。

時間をおかず、北海道にも感染が広がり、北海道独自の緊急事態宣言が出て、生活の制限と学校の休校で、コロナの目に見えない恐怖が身近なものとなった。

こんな時、気になったのは、長い間お世話になっている方のことだった。お正月に戴いた賀状の字がいつもより力がなかったからである。お便りをしたが返信はなく、お宅を訪ねるも生活感がなかった。町会の役員の方を訪ねると、体調が悪く入院したとお聞きした。入院先と思われる病院へ手紙を出したところ、郵便局から「宛先に尋ねあたりません」と押印されて返却された。封筒の下部にも病院名で同じ文言があった。高齢の私は、娘同伴で入院先と思う病院を訪ねたが、窓口の対応は期待のできるものではなかった。親族でもないし個人情報保護のこともあるので、仕方がないと思った。

新しい政権の誕生で再び「自助・共助・公助」の言葉に注目が集まり助け合いを謳っている今、腑に落ちないものが私の心の中をかけめぐった。お世話になった方が、高齢になり、お身内も少ないと聞く今、何とかお手伝いができないかと思う事もかなわない世の中。何処に向かって行くのか。一抹のさびしさを感じた。

地震などの災害は恐ろしい。が、目にも見えず、匂いもない、新型コロナウイルスはさらに恐ろしい。しかし、人間は耐え抜くと信じている。

(編集委員 T・O)

市民会議の活動報告

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年度の市民フォーラムとステップアップ講座は残念ながら中止しましたが、啓発活動については、一人ひとりにチラシを配布する街頭啓発から啓発展示へと形を変えて実施しました。

毎年、6月23日から29日までの「男女共同参画週間」にあわせて、様々な活動を展開しています。

今年度は、市内6か所において川柳コンテストの展示やのぼり旗を設置し、男女共同参画週間のPRを行いました。

男女共同参画週間

令和2年6月23日
～29日



秋の啓発

令和2年10月13日
～19日

秋の啓発では、市民会議の主な取り組みを紹介するパネル展示を行いました。

直近の市民フォーラム、ステップアップ講座、啓発活動、情報誌「ア・ライク」について紹介しました。

11月12日から25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間にあわせて、DV防止を呼び掛けるパネル展を実施しました。

運動のシンボルであるパープルリボンを手作りし、市内5か所で無料配布しました。

パープルリボンプロジェクト

令和2年11月12日
～25日



編集後記

粉雪まじりかと思うと陽がさす気ままな冬の午後、編集会議を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響で制限された日々が、生活を狭くします。

何か良いことはないかと思うこんな時だからこそ、誌面を手にしてくださる方を想い浮かべ、心休まるひととき、ちょっと気の抜けるひとときをお届けできたら良いと願って編集を終えました。

一日も早く平穏な生活を送れますようお願いしながら、私たちの活動を続けてまいります。

市民会議会員募集中

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議では、一緒に活動していただける実行委員を募集しています。

男女共同参画への理解を広めるため、岩見沢市と協働で様々な取り組みを行ってみませんか。

年齢や性別などは問いません。ぜひお気軽に下記事務局までお問合わせください。

発行 いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議

ア・ライク
VOL.19
2021年3月

【事務局】岩見沢市総務部市民連携室
男女共同参画担当

〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

☎ 0126-23-4111 (内線 422)

E-mail danjo@i-hamanasu.jp